令和８年度　鶴岡公園環境整備懇談会（会議概要）

○日　　時：　令和８年 10 月９日（金）午前９時 30 分～午前 11 時 45 分

○会　　場：　鶴岡公園内（現地視察）・鶴岡市役所６階大会議室（協議）

○出席委員：野堀　嘉裕委員（会長）、齋藤　善二委員（副会長）、阿部　達雄委員
　　酒井　英一委員、石原　純一委員、村田　伸作委員、白﨑　喜美子委員
　　砂山　隆司委員、佐藤　由紀委員、本木　優人委員

○欠席委員：酒井　忠順委員（副会長）、橋本　政之委員、菅　秀二委員、佐藤　友哉委員
　　鈴木　譲委員、阿部　正子委員

○事務局出席者（鶴岡市）：建設部長、都市計画課主幹、教育委員会社会教育課長
　　藤沢周平記念館主査、都市計画課課長補佐
　　都市計画課公園緑地係長

○公開区分：　公開
○傍 聴 者：　なし
○次　第
　１．開　会
　２．挨　拶
　３．現地視察
　　・鶴岡公園開園 150 周年記念事業
　　・令和９年度以降の整備計画（案）
　　・北広場四阿
　　・稲荷神社脇トイレ等
　　・大棟木の展示
　４．協　議
　　・令和９年度以降の整備計画（案）について
　５．その他
　６．閉　会

１．開　会
　・都市計画課主幹による開会宣言
○委員の交代
　任期途中における委員の交代に伴い、新たに就任した次の２名を紹介した。

・鶴岡市文化財保護審議会　酒井 英一委員
・若葉町東部町内会　佐藤 友哉委員

○出席状況報告
・委員１６名のうち１０名の出席があり、会則第７条第２項の規定により、本懇談会が成立していることを報告。

２．挨　拶
・建設部長および野堀会長によるあいさつ。

３．現地視察

【事務局および委員説明】

○鶴岡公園環境整備懇談会現地視察資料１に基づき、次の事項について現地説明および視察を行った。

○鶴岡公園開園 150 周年記念事業の内容
・令和９年度以降整備計画（案）に係る箇所
・北広場四阿劣化
・水流発生機故障
・稲荷神社脇トイレ劣化
・大棟木の展示

４．協　議

○令和９年度以降の整備計画（案）について

【鶴岡市】

これまでの鶴岡公園の整備計画の経過として、計画策定および見直しの経過の整備状況について説明を行った。また、令和９年度以降に予定している事業として、桜等の樹木更新、内濠の水質浄化、北広場四阿の改修、稲荷神社脇トイレの取扱い、民間活力による公園の活性化等について説明を行った。

○質疑応答および意見交換

（１）桜等の樹木更新計画について

【委員】

稲荷神社前の桜２本について、向かって左側の樹木は老木化により傾いており、右側の樹木は花も咲かず、状態も良くないのではないか。伐採してすっきりさせてはどうか。また、桜の会から桜を１本寄付したいとの声もある。

【委員】

左側の樹木が傷んでいる原因は、多くの人が根元を踏み固めていることにあると考えられるため、根元への立入りを防ぐ柵を設置するなど、保護策を検討してはどうか。また、右側の樹木については、伐採して新たな樹木に更新することも一案である。

今年の３月に開催された植樹式で植樹した桜の周辺で盛り土を行ったことについては、濠の水が地表を伝わり、根が常に水に浸かって腐ることを防ぐための措置として適切であったとの意見があった。文化財上の理由から地面を掘ることが難しい場合には、盛り土をした上で植樹するなどの工夫が必要との意見があった。

【鶴岡市】
委員の意見を踏まえ、状況を調査した上で、樹木の伐採および今後の更新について検討していきたい。

（２）内濠の水質浄化について
【鶴岡市】
内濠の水質浄化について、用水の取水状況、水流発生機の稼働状況および更新の必要性、水質分析結果ならびに今後の対応について説明を行った。

【委員】
水流を確保し、水を入れ替えることは水質改善に不可欠である。夏場は水温が上がりアオコが発生しやすい。継続して水質管理に取り組んでほしい。また、水流発生機を更新して水の流れをつくる対策は有効である。

【委員】
今年の夏に異臭が発生し、市民からも心配する声があった。水流発生機が故障しているとのことだが、早急に修理または更新すべきではないか。来年度の予算要求に盛り込み、早期に対応してほしい。

【鶴岡市】
水流発生機の更新が必要であることは認識している。委員からの意見を踏まえ、整備に向けた予算要求を含めて検討していきたい。

（３）北広場四阿の改修について
【委員】
北広場の四阿は、高校生や高齢者などが日常的に利用しており、利用者がいないということはない。老朽化が著しいため、修繕できる箇所は修繕してほしい。
また、防災機能を備えたベンチ等に改修するとのことだが、具体的にどのようなものを想定しているのか。

【鶴岡市】
防災機能については、かまどを収納できるベンチやシートで覆うことで着替えに利用できる空間の確保などを想定している。具体的な内容は現段階では確定していない。

【委員】
近隣の幼稚園や保育園の園児が散歩の際に利用するほか、急な悪天候時に雨宿りをする場所としても重要な役割を果たしている。水道や屋根があり、一休みできる場所として、今後も残してほしい。

【委員】
四阿の必要性については理解したが、防災機能を設けることについては、公園での避難は一時的なものと考えられ、周辺には指定避難所もあるため、その必要性については疑問がある。防災機能を設けるよりも構造的にしっかりとした四阿にしてほしい。

【委員】
公園は、高校生や子どもたちが日常的に利用する場所であり、安心して過ごせる場所として整備することが大切である。安全に利用でき、水道なども整った場所であれば、利用の促進にもつながるのではないか。

【鶴岡市】
四阿の改修については、周辺の指定避難所の利用状況、施設の安全性、整備費用および維持管理面を踏まえ、整備内容を検討していきたい。

（４）稲荷神社脇トイレについて
【委員】
稲荷神社脇のトイレは、設置されていることを知らない人も多いと思われる。また、天神祭の際には女性用トイレが混雑するため、必要に応じて仮設トイレの設置を要望します。

（５）民間活力による公園の活性化等について
事務局から、これまでの公園内における民間活力の活用状況および今後の公園の活性化に向けた取組について説明を行った。

【議長】
令和９年度以降の整備計画（案）について、委員からの意見を踏まえ、事務局提案のとおり了承することについて諮ったところ、異議はなく、了承された。

５．その他

〇松の病害虫対策について

【委員】

市街地や鶴岡公園周辺で松枯れ被害が拡大している。鶴岡公園内の松にも被害が及ぶ恐れがあるため、早期に対策が必要ではないか。

【委員】

松枯れの原因として、マツノザイセンチュウによる被害が考えられる。鶴岡公園では冬期間に樹幹注入を継続しているとのことだが、新芽が出る時期の薬剤散布や、根元からの液体肥料の施肥を対策として行った方が良い。

【鶴岡市】

冬期間に樹幹注入による予防対策を継続している。完全に防ぐことは難しいが、被害の予防に努めている。新芽が出る時期の薬剤散布については、市街地での散布となるため、実施の条件について調査・検討していきたい。

【鶴岡市】

鶴岡公園は、市民の憩いの場であるとともに、観光面でも市を代表する公園であることから、今後も魅力ある公園づくりに努めていく考えを示した。

また、限られた予算の中で事業を進めている状況に触れ、委員からの意見を可能な限り事業に反映できるよう努める一方、費用面から対応が難しい事項については、ボランティアや民間の協力も含めた手法を検討していく旨を述べ、引き続き委員の協力をお願いした。

６．閉　会

都市計画課主幹による閉会宣言